

環境放射能調査

原子力の安全確保、放射線障害の防止等に役立てるため、自然及び人工放射能の分布状況を全国的に調査しています。

この調査の一環として、岐阜県においても、県民の健康保持、生活環境の安全性確保等のため、平常時及び緊急時における環境放射能を測定しています。

環境試料及び農作物試料に含まれる放射性核種*の監視

(大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、精米、野菜など)



ゲルマニウム半導体検出器

雨水中の全ベータ放射能監視

(定時降水(9:00~翌日9:00))



全ベータ測定装置



大型水盤(月1回採取)



雨水採水器

大気環境中のガンマ線の常時監視

(24時間連続測定)

(毎月1回測定)



モニタリングポスト



サーベイメータ

*)放射性核種には、自然核種と人工核種が存在します。

- ・自然核種:宇宙線、大地由来のカリウム、ウランなど
- ・人工核種:核実験や原子力利用施設から放出されるヨウ素、セシウム、ストロンチウムなど